

平成29年人文学部  
教員研究業績一覧（2017.1.1-12.31）  
Academmic Achievements in 2017: Faculty of Arts

凡例：

氏名

①著書

②論文・研究ノート

③翻訳

④芸術創作

⑤書評・随筆

⑥学会・研究会等での報告

⑦上記以外の業績

金井直

- ①『彫刻の問題』（「代わりとしてのモニュメント、モニュメントの代わり」を分担執筆，トポフィル）[共著]
- ⑤ 1）村上華子評（展覧会図録『VOCA2017』上野の森美術館，pp.82-83）[単著] 2）「【書評】池野絢子著『アルテ・ポーヴェラー戦後イタリアにおける芸術・生・政治』（『ディアファネース』京都大学大学院人間環境学研究科岡田温司研究室，pp.123-126）[単著] 3）「隣の愛知へ」（『REAR』第40号，pp.62-65）[単著]
- ⑦ 1）小牧市美術鑑賞講座「アートは世界をつなぐ：美術史をかざして～現在の美術はどこ？」（小牧市まなび創造館，3月18日） 2）「信濃美術館整備キックオフ・フォーラム」モデレーター（長野市若里市民文化ホール，7月15日）

早坂俊廣

- ③ 1）「王畿「慈湖精舎會語」訳注—陽明門下の会語記録を読む 其の一—」（『白山中国学』通巻23号，pp.25-50）[共著] 2）「『朱子語類』卷一二三「陳君舉（陳同甫葉正則附）」訳注(-)」（『東洋古典学研究』第43集，pp.91-108）[共著] 3）「『朱子語類』卷一二三「陳君舉（陳同甫葉正則附）」訳注(二)」（『東洋古典学研究』第44集，pp.103-130）[共著]
- ⑤ 「【書評】三浦秀一著『科挙と性理学 明代思想史新探』（『集刊東洋学』第116号，pp.133-147）[単著]
- ⑦ 1）「杞憂はほんとうに杞憂なのか？～伝統中国の宇宙論～」（第8回信州大学哲学懇話会シンポジウム「宇宙を哲学する」，5月27日，信州大学人文ホール）[単独] 2）「中国思想における恥」（連続市民講座「哲学への招待 in SUWA」第3回，8月24日，諏訪市公民館）[単独] 3）「自分と世界のつなげ方」（連続市民講座「～人間の哲学、市民の哲学～哲学の

散歩道」第1回, 10月28日, 長野県カルチャーセンター) [単独]

北村明子

④ 1) 「TranSenses」30min、[共同・国際]、演出・振付・出演、平成29年1月6, 7日, Japan Society N.Y 主催、科学研究費挑戦萌芽研究助成事業(2015-2017) 2) 「TranSenses」- with active particle ver. -30min、[共同・国際]、演出・振付・出演、平成29年4月27-30日, Tangente, Tangente's dance program VIRTUALLY, IN THE FLESH in Montreal 主催、科学研究費挑戦萌芽研究助成事業(2015-2017) 3) 「Cross Transit」佐渡レジデンス・デモンストレーション30min + レクチャー30min、[単独・国際]、演出・振付、平成29年9月6日、佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)、アーツカウンシル東京、国際交流基金アジアセンター、芸術文化振興基金助成事業 4) 「跑」Cross Transit project スピンアウト作品、30min、[単独]、演出・振付、平成29年9月30日~10月1日、ヒルズアリーナ、六本木アートナイト2017主催 5) 「Cross Transit -Cambodia」75min、[単独・国際]、演出・振付・出演、平成29年11月16・17日、Department of Performing Arts (プノンペン、カンボジア)、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、国際交流基金アジアセンター助成事業 6) シナノケンシ株式会社 TVCM コンテンポラリーダンス)、[共同]、振付・出演、平成30年1月オン・エア~1年、

⑥学会・研究会等での報告 「姿勢：身体のゼロ地点」、第24回美術解剖学会大会、[単独]、平成29年7月15日、招聘講演、東京藝術大学、美術学部 第一講義室、美術解剖学会主催

⑦ 1) 「身体についてのこだわりとかかわりと質」、[単独]、平成29年8月1-2日、Art Theater dB Kobe、ダンス国内留学プログラム招聘レクチャー&ワークショップ、dB KOBE(神戸)主催 2) 「プロジェクト・ゼミ A (芸術文化論コース)」、[単独]、平成29年12月20日、上智大学四谷キャンパス、2017年度 上智大学文学部横断型人文学部プログラム主催 3) 「MEET THE DANCE ~アーティストが学校にやってくる!」、[単独]、平成29年12月1~15日(6回)、三芳町立三芳東中学校主催、彩の国埼玉芸術劇場提携 4) <インタビュー> “Amrita team up for a cross-cultural performance”、[共同・国際]、平成29年11月16日、The Phnom Penh Post (ダンス作品「Cross Transit -Cambodia ver.」に対して)。 5) <インタビュー> 「振付家・ダンサーが出前授業 芸術劇場企画4年目」、朝日新聞(埼玉)、[単独]、平成29年12月23日

濱崎友絵

② 「スルクレにおける音楽と場の変容—トルコのロマとその音楽に関する予備的報告—」信州大学人文科学論集 第4号(通巻51号)、3月、pp.21-37. [単著]

⑥ 1) 『『アジュ』を歌え—トルコにおけるアラベスクの誕生と展開』(国際フォーラム、Pop-folk genres in East Europe and East Asia: Parallel Phenomena on Both Sides of Eurasia, 大阪大学、2月15日) [単独・国際] 2) “East Meets West: Theory and Practice of National Music in Turkey and Japan” (The 20th Congress of the International Musicological Society, Tokyo University of the Arts, Tokyo, 3月23日) [単独・国際]

⑦ 1) 「教えて!音楽のレシピ」(信州大学人文学部×セイジ・オザワ松本実行委員会協同事

業 Vol.3 トークイベント&レクチャー・コンサート、コーディネーター、あがたの森文化会館講堂、9月4日) [協同] 2) 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)(平成28年度～平成29年度)「ドイツにおけるトルコ系移民の音楽とその伝承」研究代表者

三谷尚澄

- ①『哲学しててもいいですか? 文系学部不要論へのささやかな反論』(ナカニシヤ出版, pp.1-217) [単著]
- ⑤ 「Robert B. Brandom, From Empiricism to Expressivism: Brandom reads Sellars」(『日本カント研究』, No.18, pp.184-188) [単著]
- ⑥ 1) 「先端医療研究はどのような意味で倫理的問題を提起するのか」(信州大学医学部ヒトES細胞研究に関する研修会, 2月16日, 信州大学) [単独] 2) 「知覚と言語/西田における場所の論理と日本語文法の交差点」(科研ワークショップ「知覚の比較哲学」, 信州大学, 3月6日) [単独] 3) 「道元の宇宙とプロセスの思考 融合哲学の試み」(ワークショップ「道元の世界観」, 大阪市立大学, 9月24日) [単独]
- ⑦ 1) 『『生き方』について哲学する』(長野県カルチャーセンター講座「哲学の散歩道」, 2月4日) 2) 「〈右肩下がり〉の時代を生きる」(長野県カルチャーセンター講座「哲学の散歩道」, 2月18日) 3) 「天地が崩壊することの何が問題なのか? 伝統中国思想と現代宇宙論の稀有な出会いに思うこと」(第8回信州大学哲学懇話会シンポジウム「宇宙を哲学する」, 信州大学, 5月27日) 4) 「哲学しなけりゃ意味がない It doesn't mean a thing if it ain't got that philosophizing」(信州大学人文学部「夕べのセミナー」, 7月7日) 5) 「哲学しなけりゃ意味がない あるいは「哲学の理由」について」(哲学への招待 in Suwa, 諏訪市文化センター, 8月31日) 6) 長野県看護協会実習指導者養成講習講師(10月24日、11月13日、15日) 7) 「トランスサイエンスの時代 市民として科学とつきあう」(長野県カルチャーセンター講座「哲学の散歩道」, 12月9日) 8) 日本カント協会編集委員・濱田賞選考委員

護山真也

- ② 1) 『『因明入正理論疏』における四相違の解釈(上)』、『信州大学人文科学論集』第4号(通巻51号), pp.1-20. [単著] 2) 「仏教認識論とエナクティブ・アプローチ」、『比較思想研究』第43号, pp.134-141. [単著]
- ⑥ 1) 「自己認識 (svasaṃvedana) と主観性—E. Thompson “Self-No-Self? Memory and Reflexive Awareness” の批判的検討」(ワークショップ「知覚の比較哲学」, 信州大学, 3月4日) [国内・単独] 2) “Prajñākaragupta on Omniscience, Time and Existence” (International Workshop, God/No-God, Omniscience and Realism/Anti-Realism, ハワイ大学, 3月11日) [国際・単独] 3) “Causation and Contingency: A Study on the Svābhāvīkavādaparīkṣā of the *Tattvasaṅgraha* and the *Tattvasaṅgrahapañjikā*” (International Workshop: Chance and Contingency in Indian, イェール大学, 5月13日) [国際・単独] 4) 「自己認識 (svasaṃvedana) と主観性—E. Thompson “Self-No-Self? Memory and Reflexive Awareness” を手がかりとして」(比較思想学会第44回大会, 中央大学, 6月18日) [国内・単独] 5) “Kuiji's analysis of the four kinds of contradictory reasons” (Panel: Transmission and Transformation of Buddhist Logic and

- Epistemology in East Asia, in XVIIIth LABS Congress, Toronto, August 23, 2017) [国際・単独]  
 6) 「ヨーガ行者による過去や未来の認識について」(日本印度学仏教学会第68回学術大会、花園大学、9月2日) [国内・単独]  
 ⑦ 1) 諏訪市公民館主催夏季市民大学「哲学への招待 in SUWA」講演「愛の比較哲学」(諏訪市文化センター、8月10日) 2) 武蔵野大学第594回日曜講演会「空の倫理学を考える」(武蔵野大学、10月8日) 3) 市民講座「哲学の散歩道」講演「『ミリンダ王の問い』に見る仏教の人間観」(長野県カルチャーセンター、11月25日)

#### 菊池聡

- ② 1) 「中学高校生の疑似科学信奉と科学への態度の関連性」『信州大学人文科学論集』4, 11-24. [単著] 2) 「超常現象と疑似科学の心理学」『理科の探検』25, 28-33. [単著]  
 3) 「高校学習指導要領(外国語)の中で伸ばすべき能力とされる論理的思考力の伸張要因同定とその測定に向けて」『教職実践研究』1, 17-22. [共著] 4) 「子どもの心から不思議現象が見えてくる 素朴概念という思い込みを考える」『理科の探検』28, 38-43. [単著]  
 5) 「英語教育・国語教育と論理的思考 日英語比較、および過去30年間の国立大学入試問題分析からみる、新指導要領への提言(報告:第38回研究大会ワークショップ)」『社会言語科学』19, 110-115. [共著]  
 ④ 「Aqua Cosmos」日本広告写真家協会 APA アワード2017, 東京都写真美術館  
 ⑤ 1) 「防災:2017年の長野市に期待する」週刊長野新聞 1月1日 [単著] 2) 「非常時に生じる心の偏り-教えて!信州の防災学-」信濃毎日新聞 1月16日 [単著] 3) 「宗教、あるいは「自分を越えたもの」への科学的アプローチ」『心理臨床の広場』9, 35-42. [共著] 4) 「地震前兆現象の錯覚 -教えて!信州の防災学-」信濃毎日新聞 6月9日 [単著] 5) 「ペットと防災 飼い主の責務 問われる絆 -教えて!信州の防災学-」信濃毎日新聞 11月20日 [単著] 6) 「だまされる心の心理学:思い込みや迷信を生む心のシステム」日本学術会議中部地区会議ニュース No.143, 6-8. [単著]  
 ⑥ 1) 「災害への準備行動に対する「危険」の効果」日本社会学会第90回大会, 東京大学, 11月4日 [共同] 2) 「英語力と論理的思考力伸長の規定因の考察」日本英語学会第35回大会, 東北大学, 11月18日 [共同] 3) 「防災と減災のための心理学」日本地すべり学会第56回大会, 長野市ホクト文化ホール, 8月22日 [単独]  
 ⑦ 1) 「どうして私たちはダマされるのか? 特殊詐欺被害防止」(信州大学出前講座・松本市新村地区ふれあい健康教室, 2月9日) 2) 「防災減災のための心の科学 リスク社会をいかに生きるか」(諏訪市市民大学講座, 2月7日) 3) 「だまされる心の科学 クリティカルシンキングへの招待」(信州倶楽部第34回例会講演会, 3月2日) 4) 「第4回市民防災シンポジウム コミュニティの新しいカタチ:パネルディスカッションコーディネーター」(信州大学地域防災減災センター・市民防災シンポジウム, 3月7日) 5) 「人はなぜ疑似科学に騙されるのか」(飯山高等学校探究科一年生講演会, 4月7日) 6) 「千曲川犀川洪水タイムライン解説」(SBC ラジオ J のコラム, 5月5日) 7) 「防災減災のための心の科学」(信州大学出前講座・中野市防火管理協議会, 5月12日) 8) 「防災減災のための心の科学」(信州大学出前講座・長野市役所管理職研修, 5月29日) 9) 「防災減災のための心の科学」

科学」(信州大学出前講座・長野県副町村長会議, 5月29日) 10)「防災減災のための心の科学」(長野県大規模災害ラジオ放送協議会講演会, 6月6日) 11)「防災減災のための心理学」(長野県教育委員会防災教室, 6月26日・7月18日) 12)「心理学からのクリティカルシンキング入門」(平成29年度信州大学教員免許状更新講習, 7月1日) 13)「あやしい健康法・治療法にだまされないために 思い込みのワナを見抜くコツ」(健康の達人教室 平成29年度農林水産省健康な食生活を支える地域づくり推進事業, 7月2日) 14)「だまされる心の心理学: 思い込みや迷信を生む心のシステム」(日本学術会議中部地区会議学術講演会, 7月7日) 15)「ポジティブに生きる心理学 あなたや家族を守る心のありかた」(信州大学出前講座・諏訪人権擁護委員会協議会, 7月21日) 16)「錯覚の不思議な世界」(信州大学出前講座・下條村下條中学校, 8月24日) 17)「思い込みと錯覚の心理学 人はなぜだまされてしまうのか」(東京都中野区医師会「新生」座談会, 8月26日) 18)「錯覚の不思議な世界」(安曇野市市民大学講座, 8月29日) 19)「防災と心の情報整理: 防災の日2017ラジオの力 特別番組」(長野県民放ラジオ3局共同制作, 9月1日) 20)「災害時の人の心理」(NHK ラジオ第一ぶらり信州, 9月27日) 21)「防災と減災の心の科学 リスク社会をいかに生きるか」(信州大学出前講座 篠ノ井地区住民自治協議会, 10月3日) 22)「防災と減災のための心理学」(松本蟻ヶ崎高校防災講演会, 10月17日) 23)「防災と減災のための心理学」(国土交通省松本砂防事務所職員研修会, 11月21日) 24)「災害 その時間われる動物との絆」(信州大学地域防災減災センター第5回市民シンポジウム・パネルディスカッションコーディネーター, 11月23日) 25)「だまされる心の心理学」(信州大学出前講座 松本商工会議所ビジネス研修会, 11月29日) 26) 松本市役所新庁舎建設場所検討委員会委員 27) 松本市ユニバーサルデザイン推進会議座長 28) 松本市防犯推進会議座長 29) 長野エフエム放送番組審議会委員

佐藤広英

② 1)「The effect of participants' stress manipulation on experimenters' mood states」(*Psychology*, 8, 1229-1237) [共著] 2)「インターネット上での他者情報公開の特徴」(総合政策研究, 印刷中) [共著] 3)「大学生の SNS における対人ストレス経験——社会的ネットワークとの関連——」(信州大学人文科学論集, 4, 53-63) [共著]

⑥ 1)「Cultural differences in privacy consciousness: Comparison between Japanese and Taiwanese high school students」(The 18th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology, San Antonio, TX., January, 20) [共同] 2)「高齢者のネットトラブル被害と関連する心理的要因の検討」(日本パーソナリティ心理学会第26回大会, 東北文教大学, 9月7日) [共同] 3)「Twitterでの他者情報公開経験を規定する心理的要因: 若年層を対象として」(日本パーソナリティ心理学会第26回大会, 東北文教大学, 9月7日) [単独] 4)「プライバシーポリシーを読まない理由に関する一考察」(コンピュータセキュリティシンポジウム2017, 山形国際ホテル, 10月24日) [共同]

⑦ 1)「特集「現代社会におけるメディア研究」(巻頭言)」(社会言語科学, 20, 1-4) [共著] 2) 社会言語科学会・学会誌編集委員会委員 (2013年4月~2017年3月) 4) 日本パーソナリティ心理学会・学会誌編集委員会委員 (2014年10月~現在) 5)

WebLabMeeting・メディア・情報・コミュニケーション研究編集委員（2016年4月～現在）

6)「潜在連合テストを用いた新たな心理的・身体的ストレス測定法の開発」（科学研究費補助金若手研究(B)研究代表者（～2018年3月）） 6)「青年期における SNS 利用時の対人ストレス過程に関する研究：精神的健康・学校適応との関連」（財団法人電気通信普及財団平成28年度研究調査助成 研究代表者（～2019年6月）） 7)「ストレス状態の潜在的評価に関する研究」（北海道大学社会科学実験研究センター（CERSS）コロキウムでの講演，北海道大学社会科学実験研究センター，6月29日） 8)「長野県をフィールドとした着地型観光プランの作成と情報発信」（2017年度 JAF 長野支部会員優待施設連絡会での講演，軽井沢浅間プリンスホテル，11月8日） 9)「インターネットの心理学」（信州大学出前講座 諏訪市立豊田小学校 PTA，11月22日）

茅野恒秀

① 1)『よくわかる環境社会学（第2版）』（ミネルヴァ書房，鳥越皓之・帯谷博明編著，コラム8「赤谷プロジェクト」、コラム37「青森県六ヶ所村の現在」を執筆）

② 1)「地域間連携によるウッドスタートの可能性と課題：東京・新宿区ウッドスタート事業の考察」（『地域づくり』333：30）[単著] 2)「自治体原子力行政の「自治」を問う」（『科学』87(4)：383-387）[単著] 3)「東日本大震災と環境社会学研究」（『環境社会学研究』23：166-190）[共著]

⑤ 1)「長野県宮田村における8000ベクレル/kg以下の放射性廃棄物の最終処分問題」（『原子力資料情報室通信』520：4-5）[単著]

⑥ 1)「「ポスト核燃サイクル」の六ヶ所村は可能か？」（2月24日、日米原子力協力協定と日本のプルトニウム政策国際会議2017、国連大学）[単独] 2)「現代信州の環境問題：解題」（6月4日、第55回環境社会学会大会、信州大学）[単独] 3) Japan's Chaotic Nuclear Waste Mismanagement after Fukushima（9月1日、21st REFORM Group Meeting, at Hotel Schloss Leopoldskron, Salzburg）[単独]

⑦ 1) 講演「ウッドスタートの到達点と今後：地域間連携の可能性と課題に着目して」（2月23日、第4回木育サミット・シンポジウム「ウッドスタートの効果を検証する：経済・環境・子育ての視点から」、ティアラ江東） 2) 講演「地域資源を活かした市民主体のまちづくり」（3月21日、平成28年度協働のまちづくりフォーラム、安曇野市役所） 3) 講演「宮田村大久保地区に計画された廃棄物最終処分場の問題点」（3月29日、学習会「天竜川上流が放射性廃棄物で汚される?!」、浜松市福祉交流センター） 4) 講演「自立（自律）と連携の地域づくり：地域開発の反省と展望」（7月23日、ILC 誘致を考える講演会、一関市総合体育館） 5) 講演「木育がなぜ今必要なのか：地域のさまざまな可能性に着目して」（7月30日、滋賀県多賀町青少年育成町民会議、多賀町立中央公民館） 6) コメンテーター「長野の木育は進む：木育で地域がどう変わる？」（8月4日、木育ゼミナール、銀座NAGANO） 7) 講演「ウッドスタートによる地域間連携の可能性と課題」（8月25日、Wood in Culture サマースクール2017 in 信州伊那、高遠閣） 8) 講演「宮田村大久保地区に計画された廃棄物最終処分場問題の現状と今後」（11月22日、駒ヶ根市東伊那区学習会、東伊那公民館） 9) 講演「峠の道：奥山と里山の保全活動」（11月26日、伊那谷自然環境ライ

ブラリーフォーラム、伊那市立図書館) 10) 講演「木が地域を育む」(12月16日、未来の森林づくりを考える講演会、佐久穂町茂来館) 11) 第55回環境社会学会大会(信州大学)実行委員長

水原俊博

⑥ 1) 「消費主義と主観的幸福感の多元的関連性——『21世紀の消費生活に関する調査』を通して」(第90回日本社会学会大会、東京大学、11月4日) [単独] 2) 2017.5.27, 「消費態度と主観的幸福感(1)」(グローバル消費文化研究会、立教大学、5月27日) [単独] 3) 「消費態度と主観的幸福感(2)」(グローバル消費文化研究会、立教大学、10月15日) [単独] 4) 「観光の文化社会学——観光のまなざしから移動性へ」(日本観光研究学会研究分科会「観光文学研究会」立教大学、10月19日) [単独] 5) 「長野県民・松本市民調査から見えてきた『信州人の災害不安』」(信州大学第4回防災市民シンポジウム(共催 松本市)、松本市中央公民館、2月5日) [単独] 6) 「消費社会学の研究」(信州大学食農産業イノベーション研究センター(CAFI)キックオフシンポジウム、於：信州大学工学部、3月17日) [単独].

⑦ 1) 「【受託研究】長野県の郷土と文化に関する調査(県民文化意識調査)」八十二文化財団、[共同] 2) 【学会運営】経済社会学会年報編集委員長(常任理事)、経済社会学会高田保馬賞選考委員.

今井 章

② 「ディスクの回転による触覚の錯覚現象について—Cormackのコイン回転錯触の再考—」信州大学人文科学論集, 4(5), 85-91頁 [共著]

⑥ 1) 「大学生の強迫傾向における認知処理と事象関連電位の関係」日本認知心理学会第15回大会プログラム, P2-22 (CD-ROM) (6月3日, 慶應義塾大学) [共同] 2) 「表情認知に及ぼす表情操作の影響」日本心理学会第81回大会発表論文集, 411-411頁 (9月20日, 久留米シティセンター) [共同] 3) 「ディスクの回転による触覚の錯覚—Cormackのコイン回転による触錯再考—」日本心理学会第81回大会発表論文集, 446-446頁 (9月21日, 久留米シティセンター) [共同] 4) 「情動刺激による時間知覚と生理反応との関係」日本基礎心理学会第36回大会プログラム, 65-65頁 (12月2日, 立命館大学) [共同]

⑦ 1) 独立行政法人自動車事故対策機構長野支部平成29年度運行管理者等基礎講習講師「運転者の心理『自動車運転者の適性管理について—安全運転のために—』」(6月8日, 長野県松本市浅間温泉文化センター) [単独] 2) 平成29年度日本生理心理学会編集委員会委員

岡本卓也

② 1) 「行政職員のボランティア参加経験が彼らのボランティア活動や協働事業への積極性に与える影響の検討」(『コミュニティ心理学研究』21, 61-79, 2017年9月) [共著] 2) 「SNS ストレス尺度の作成と SNS 利用動機の違いによる SNS ストレス」(『信州大学人文科学論集』4, 113-133, 2017年3月) [単著]

⑥ 1) 「環境志向性と利用動機がサードプレイス利用時の感情状態に与える影響」(第20回日

本コミュニティ心理学会, 上智大学, 2017年7月) [単独・国内] 2) “Place identity and environmental orientation.” (The 15th European Congress of Psychology, AMSTERDAM RAI CONFERENCE CENTRE. 2017年7月) [単独・国際] 3) “Hiking motivations and emotions on the mountain top.” (The Asian Association of Social Psychology 2017 Conference, Massey University Albany Campus., 2017年8月) [単独・国際] 4) 「環境志向性尺度の作成」(日本心理学会第81回大会, 久留米シティプラザ, 2017年9月) [単独・国内] 5) 「登山動機と登山の意味」(第58回日本社会心理学会, 広島大学, 2017年10月) [単独・国内]

⑦ 1) 『観光者属性の違いによる安曇野観光の調査』(平成26年度安曇野市受託研究, 2017年3月) [単著] 2) 「「場所」の魅力の解明－場所経験が人生移行に与える影響」(科学研究費補助金(基盤研究(C)):研究代表) 3) 「先端生命科学を促進する先駆的 ELSI アプローチ」(平成28年度 社会技術研究開発センター (RISTEX) 戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)「科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム」:分担研究者) 4) 「旅行キャリア発達のための熟達化過程の解明とキャリア対応型観光支援システムの開発」(科学研究費補助金(基盤研究(B)):分担研究者) 5) 「コミュニティ健康文化研究プロジェクト」(チームグクル合同会社) 6) 日本コミュニティ心理学会研究委員会委員 7) 日本コミュニティ心理学会第3回研究法ワークショップ講師(2017年8月)

清水健司

② 「思考抑制と曖昧さ耐性が強迫傾向に及ぼす影響」信州大学人文科学論集4号 p.103-112. 2017年3月 [共著]

⑥ 1) 「The influence of contingency of self-worth and achievement motivation on adaptation of undergraduate students」(2017 Hawaii International Conference on education, Honolulu, January) [共同・国外] 2) 「Preschool's emotional knowledge as a mediator between inhibitory control and social competence: longitudinal research」(2017 Hawaii International Conference on education, Honolulu, January) [共同・国外] 3) 「森田神経質における反すうと省察の増減要因」(日本心理学会第79回大会, p.26 久留米シティプラザ 10月) [共同・国内] 4) 「森田神経質と認知的コーピングが精神的健康に及ぼす影響」(日本教育心理学会第59回総会, p.324 名古屋国際会議場 10月) [共同・国内]

⑦ 1) 独立行政法人自動車事故対策機構適性診断専門委員 2) 日本パーソナリティ心理学会機関誌編集委員会常任委員(第26期 平成29年度)

高瀬弘樹

① 坂田 省吾・山田 富美雄(編)『生理心理学と精神生理学 第I巻 基礎』(「呼吸リズム解析の正常・異常」 pp.200-205) [共著]

⑦ 1) レクチャー・コンサート『教えて!音楽のレシピ』(信州大学人文学部×セイジ・オザワ松本フェスティバル協同事業, あがたの森文化会館 講堂, 9月4日) [協同] 2) 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「身体的相互刺激によるリラクセーション効果の生起機序の解明」(課題番号:15K13138) 研究代表者



長谷川孝治

- ①『エピソードでわかる社会心理学——恋愛関係・友人関係から学ぶ』谷口淳一・相馬敏彦・金政祐司・西村太志（編）（Episode 32「自分のことのように…」 Pp.90-91, Episode 50「わたしのこと、本当に好き？」 Pp.136-137を分担執筆）[共著]
- ②制御適合が学習に関する動機づけに及ぼす影響 信州大学人文科学論集, 4, 93-102. [共著: 長谷川孝治・高橋雄祐]
- ⑥ 1) Who tweets negative things about themselves? Effects of self-esteem, reassurance seeking, and age on twitter posts. (The 18th annual meeting of the Society for Personality and Social Psychology, Jan 21, San Antonio, Texas, USA) [共同: Hasegawa, K. & Furusato, Y.] 2) The influence of self-esteem, reassurance seeking and psychological distance on reaction to a romantic partner: How would people with low self-esteem cope with misunderstanding from their partner? (The Biennial 12th Conference of the Asian Association of Social Psychology, Aug. 27, Auckland, New Zealand) [単独] 3) 自尊心と安心さがしと対人関係目標が関係への評価に及ぼす影響 (日本心理学会第81回大会 久留米シティプラザ 9月22日) [単独] 4) ボイストレーニング・プログラムへの参加経験が心理的健康と夫婦間コミュニケーションに及ぼす影響(2)——長期的効果と集団アイデンティティに関する検討—— (日本グループ・ダイナミックス学会第64回大会 東京大学 9月30日) [単独] 5) 自尊心と安心さがしと対人関係目標が関係満足度に及ぼす影響 (日本社会心理学会第58回大会 広島大学 10月29日) [単独]
- ⑦ 1) 日本社会心理学会理事 2015年4月～2018年3月

久保亨

- ①波多野澄雄・久保亨・中村元哉共編『日中終戦と戦後アジアへの展望』慶應義塾大学出版会
- ② 1) 「日中戦争史研究の現在と日中関係」『歴史評論』807、2017年7月号、6-18頁 2) 「1940-50年代の中国経済と日中関係」(波多野・久保・中村共編『日中終戦と戦後アジアへの展望』135-150頁) 3) 「人文・社会科学の危機と歴史学」(歴史学研究会編『第4次 現代歴史学の成果と課題』3 歴史実践の現在、績文堂出版、17-28頁)
- ⑤ 1) 「日中開戦前夜の精衛脚石をめぐって」『史学雑誌』126-7、34-36頁 2) 「開戦80年目の日中戦争認識」『日本学術会議中部地区会議ニュース』No.143、2017年10月、10-12頁 3) 「書評・白木沢旭児著『日中戦争と大陸経済建設』」『日本歴史』第835号、2017年12月、107-109頁 4) 「コラム [11] 公文書館の国際比較」(歴史学研究会編『歴史を社会に活かす 楽しむ・学ぶ・伝える・観る』東京大学出版会)
- ⑥ 1) “Networks in Chinese Cotton Industry” (Panel Session *Competition and Competitive Advantage: Merchants, Agents, and Industrialists in the Changing Networks in East Asia*, AAS-in Seoul 2017, June 24-26) 2) 「日中戦争史研究之現状与日中関係」[中国語] (中国社会科学院近代史研究所『抗日戦争研究』編集部主催「抗日戦争勃発80周年シンポジウム」、北京、7月7-9日) 3) 「日中戦争史研究の現状と日中関係」[英語] (オーストリア科学アカデミー、中国社会科学院近代史研究所『抗日戦争研究』編集部、ウィーン大学東アジア研究所共催「ヨーロッパと東アジアにおける第二次世界大戦の記憶」会議、オーストリア科学アカ

デミー、8月30-31日)

山本英二

- ① 1) 「元禄期幕府直轄領支配と代官手代」(東四柳史明編『地域社会の文化と史料』同成社, pp.330-347) [共著] 2) 「江戸幕府法令の布達と伝達」(高井地方史研究会編『幕領中野陣屋の支配機構と民政』北信ローカル社, pp.7-20) [共著]
- ⑥ 1) 信州大学附属図書館中央図書館・知の森昼どきセミナー「信州大学の古文書—多湖文庫と松本女子師範「郷土資料」」(2017年7月26日, 於: 信州大学附属図書館中央図書館) [単独] 2) 第41回山ノ内町人権・同和教育研究集会講演「歴史教科書で考える江戸時代の被差別民」(2017年12月5日, 於: 長野県下高井郡山ノ内町・山ノ内町文化センター) [単独] 3) 甲州史料調査会調査報告: シンポジウム古文書からみる窪八幡神社「寛文年間の窪八幡神社」(2017年12月9日, 於: 山梨市・山梨市民会館) [単独]
- ⑦ 1) 2016年度後期講座「日本史の謎と常識」(名古屋市・栄中日文化センター, 2017年2月17日・3月17日) [単独] 2) 2017年度前期講座「日本史の謎と常識」(名古屋市・栄中日文化センター, 2017年4月21日・5月19日・6月16日・7月21日・9月15日) [単独] 3) 2017年度後期講座「日本史の謎と常識」(名古屋市・栄中日文化センター, 2017年10月20日・11月17日・12月15日) [単独] 4) 愛知大学文学部春学期非常勤講師「日本史学講読」 5) 徳川林政史研究所特任研究員 6) 関東近世史研究会評議員

大串潤児

- ② 1) 「教科書問題と歴史学」歴史学研究会編『第4次 現代歴史学の成果と課題』第3巻、績文堂出版、2017年5月、289～299頁 [単著] 2) 「歴史学と歴史教育」歴史科学協議会編『歴史学が挑んだ課題 継承と展開の50年』大月書店、2017年6月、340～364頁 [単著] 3) 「日中戦争と銃後: 戦場から遠くはなれていること」『月刊東京』387、2017年8-9月、8～15頁 [単著] 4) 「「シン・ゴジラ」はいまどうなっているか?」『歴史学研究』第961号、2017年9月号、33～37頁 [単著] 5) 「占領と地域の社会運動」『歴史地理教育』第869号、2017年9月号、52～53頁 [単著]
- ⑥ 1) 「北海道紙芝居調査報告」神奈川大学非文字資料センター共同研究「戦時下大衆メディアの研究」班研究会、2017年1月21日、於・神奈川大学(横浜市) [単独] 2) 「ファシズム—「草の根」の社会史の課題」CAAS&NINJAL ユニット合同セミナー2016「草の根のファシズム—その歴史的現在」(東京外国語大学)、2017年1月30日、於・東京外国語大学(府中市) [単独] 3) 「山村の学院(ハゴン): 長野県下伊那郡平岡村1940-1950 人びとはどこから来て、どこへ行ったのか」柏陽高校日本史サマーセミナー、2017年8月21日、於・神奈川県立柏陽高校 [単独] 4) 「戦後地域青年団運動の思想と行動 戦後意識の成り立ち」八十二文化財団講座「記録に見る信州の戦後70年」、2017年8月25日、於・長野市・八十二文化財団 [単独] 5) 「「学ぶ、とはどういうことか?—浅間山米軍演習地化反対闘争史の再検討にむけて」集会「浅間山米軍演習地化反対闘争に学ぶ」2017年9月24日、於・上田市勤労センター [単独]
- ⑦ 1) 「教科書批評の方法と「通史」「問題史」の構想—「シンポジウム歴史教科書いままで

とこれからXⅢ」参加記『歴史評論』第809号、2017年9月号、101～103頁 [単著] 2) 「平和教育・人権教育の課題は何か—現在の政治状況をふまえて」『歴史教育長野 年報』第31号、長野県歴史教育者協議会、2017年10月1日、43～45頁 [単著] 3) 「『国策紙芝居』—北海道・札幌・京極町調査報告」神奈川大学非文字資料研究センター『News Letter』No.36、2017年9月、12～17頁 [単著]

佐藤全敏

〈平成28年〉

⑥ 1) 「平安時代の朝夕御膳と朝干飯御膳の復原方法について」(科研にかかわる「延喜式」食文化研究会〈国立歴史民俗博物館主催〉、10月24日、東京医療保険大学) [単独]

⑦ 1) 「光明寺仏像保管庫のあり方について(文化庁への相談結果を含む)」(飯田市光明寺調査報告会、6月25日、同寺庫裏) [共同] 2) 放送大学非常勤講師(4月～9月) 3) 東京書籍中学校社会教科教科書『新しい社会』編集委員(11月～) 4) 科学研究費助成事業基盤(C)「平安時代における「国風」的文化現象についての学際的研究」研究代表者

〈平成29年〉

① 『日本古代交流史入門』(鈴木靖民他編、勉誠出版、573頁、担当282-320頁、6月) [共著]

⑥ 1) 「国風とは何か 再論」(科研研究会、1月21日、東京大学) [単独] 2) 「国風とは何か」(第11回ワルシャワ大学日本祭〈国際会議〉、10月16日、ワルシャワ大学、ポーランド) [単独] 3) 「左大寺古文書と承和年間の仏像様式」(早稲田大学古代史研究会、12月9日、早稲田大学) [単独]

⑦ 1) 「『国風文化』研究の現在—東アジアのなかの平安時代」(社団法人金鶏会公開講座「古典を読む」、10月28日、長野高校金鶏会館) [単独] 2) 東京大学史料編纂所特定共同研究研究員(4月～) 3) 放送大学非常勤講師(4月～9月) 4) 東京書籍中学校社会教科教科書『新しい社会』編集委員 5) 科学研究費助成事業基盤(C)「平安時代における「国風」的文化現象についての学際的研究」研究代表者(継続) 6) NHK「日本人のおなまえ!」取材協力(9月28日放映)

豊岡康史

② 「清朝・ベトナム国境と越境する海賊」(『歴史学研究』第963号、pp.2-10) [単著]

⑥ 1) 「從嘉慶海盜擾臺來看清代中期臺灣開發史上的淡水廳」(2017淡水學國際學術研討會港口、船舶與貿易、臺灣淡江大學歷史學系、2017年11月3日) [単独] 2) 「清朝・ベトナム国境と越境する海賊」(歴史学研究会2017年度大会全体会「境界領域をめぐる不条理」、学習院大学、2017年5月27日) [単独]

⑦ 1) 科学研究費助成事業(若手研究B)「清朝中期の対外関係:「カントンシステム」再検討(1784-1833)」を研究代表者として実施 2) 三菱財団平成28年度学術研究助成「清朝嘉慶期(1796-1829)の政治改革と構造変動:19世紀中国の転換点」を研究代表者として実施。

氏岡真士

- ② 1) 「石渠閣補刊本《水滸》平議」(『信州大学人文科学論集』第4号、175-188頁) [単著]  
 2) 「『杜騙新書』の明刊本について」(『信州大学総合人間科学研究』第11号、129-142頁) [共著]  
 3) 「七十回本『水滸伝』の光霽堂刻本について」(『汲古』第72号、33-38頁) [単著]

野津寛

- ② 研究論文 “Métamorphose et exil chez Ovide et Apulée,” 『信州大学人文科学論集』第4号、p.133-139, 2017年3月 [単著]  
 ⑥ 1) “A Re-Examination of the Prologue Speaker Problem in *Apuleius' Metamorphoses*” 2017年8月29日, The 4th Tokyo Cambridge Seminar on Law and Humanities, Cambridge University [単独]  
 2) RISTEX 自律性の検討に基づくなじみ社会における人工知能の法的電子人格・キックオフシンポジウム, パネルディスカッション1 「ペルソナ概念の来歴」, 2017年11月22日, 銀座松竹スクエア13F セミナールーム [パネリストとして]  
 ⑦ 学会運営 1) 日仏ギリシア・ローマ学会事務局長として講演会を主催, 2017年3月25日, アテネフランセ 2) 日仏ギリシア・ローマ学会事務局長として講演会を主催, 2017年5月20日, アテネフランセ.

吉田正明

- ② 「『さくらんぼの実る頃』をめぐって」, 『シャンソン・フランセーズ研究』第9号 (シャンソン研究会発行), pp.72-91, 2017年12月, [単著]  
 ⑥ 1) 「ジャン・バティスト・クレマンと『さくらんぼの実る頃』を巡って」, シャンソン研究会15周年特別講演会 (於太宰府市関雅子氏宅ホール, 2017年9月2日) [単独] 2) 「ジャン・バティスト・クレマンの『シャンソン集』について」, 第30回シャンソン研究会にて発表 (於信州大学人文学部, 2017年11月11日) [単独]  
 ⑦ 1) 第4回東京シャンソンコンクール審査員 (於杉並公会堂, 2017年5月6日) 2) シャンソン研究会代表としてシャンソン研究会主催, 第29回シャンソン研究会 (於追手門学院大阪梅田サテライト, 2017年5月19日), 第30回シャンソン研究会 (於信州大学人文学部, 2017年11月11日) 3) 長野県美須々ヶ丘高等学校評議員 4) 長野県高等学校文化連盟文芸部主催, 長野県文芸コンクール選考委員長 5) 実用フランス語検定試験松本会場責任者 (於信州大学人文学部, 2017年6月18日, 11月19日) 6) 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (基盤研究(C) (一般)) (平成29年度~平成32年度) による研究課題「19世紀後半パリにおける出版物とシャンソンとの影響関係」(課題番号17K02589) の研究を研究代表として実施

磯部美穂

- ② *Wie tolerant muss das Korrekturlesen sein? Zur systematischen Korrektur im deutschen Sprachunterricht.* In: NU Ideas 6. 2017. 45-51. [単著]  
 ⑥ 研究発表 1) *Wie tolerant muss das Korrekturlesen sein? Zur systematischen Korrektur im*

*deutschen Sprachunterricht*. Nagoya University Writing Center 3rd International Symposium Academic Writing & Critical Thinking, [単独] 2017年2月18日, 於 名古屋大学。 2) 「誤用分析に基づくドイツ語表現幅に関する考察」。大阪市立大学ドイツ文学会, 2017年3月31日, 於 大阪市立大学。[単独]

⑦講演通訳「定期刊行研究。文化科学研究対象としての雑誌 (Periodical Studies.Zeitschriften als Gegenstand der Kulturwissenschaft)」2017年9月29日, 於 立教大学。

伊藤加奈子

②「親族名称の他称用法に関する現代中日対照比較——“她妈”が「妻」となるときとは？」単著『信州大学人文科学論集』4号 pp.155-173

鎌田隆行

②「『そうとは知らない喜劇役者』——再発見の旅(2)』, 信州大学『人文科学論集』第4号(通巻51号), 2017, pp.203-217 [単著].

⑥1) 「『人間喜劇』の生成資料の内容記述の試み」, 関西バルザック研究会, 近畿大学会館, 2017年4月1日 [単独] 2) 「『セザール・ピロトー』における食卓の場面」, 関西バルザック研究会, 近畿大学会館, 2017年8月26日 [単独] 3) « Scènes de repas dans *César Birotteau* », 国際シンポジウム『バルザックと食卓の表象』, 大阪府立大学 I-site なんば, 2017年9月23日 [単独・国際] 4) 「バルザックとジャーナリズム」, 日本フランス語フランス文学会秋季大会ワークショップ「19世紀文学とジャーナリズム」, 名古屋大学, 2017年10月29日 [単独].

⑦1) 博士学位論文審査委員(副査): 吉野内美恵子『バルザック *La Peau de chagrin* (『あら皮』) —「幻想に隠された広大な構想」—』, 名古屋大学大学院文学研究科, 2017年2月3日 2) 学会司会: 第29回シャンソン研究会, 2017年5月19日, 追手門学院大阪梅田サテライト 3) 国際シンポジウムの運営: 『バルザックと食卓の表象』, 大阪府立大学 I-site なんば, 2017年9月23日 4) 講演会司会: マルティーン・リード「19世紀に女性が小説を書くということ」, 2017年9月29日, 信州大学人文学部 5) 講演会司会・通訳: ピエール・グロード「バルザック、デュルケーム、社会学」, 2017年10月31日, 信州大学人文学部 6) 学会司会: 第30回シャンソン研究会, 2017年11月11日, 信州大学 7) 学会司会: 日本フランス語フランス文学会中部支部大会, 2017年12月2日, 富山大学 8) Groupe International de Recherches Balzaciennes (国際バルザック研究会) 執行部メンバー (2008年3月~) 9) パリ第8大学出版会叢書 « *Manuscrits modernes* » アドヴァイザリーボード委員 (2014年5月~) 10) パリ・デイドロ大学ジャック・セバシユール研究センター客員研究員 (2015年12月~) 11) クラシック・ガルニエ社 « *Revue Balzac* » 編集委員 (2016年11月~) 12) シャンソン研究会参与 (2011年4月~) 13) 日本フランス語フランス文学会中部支部幹事 (2017年4月~) 14) 科学研究費補助金(基盤研究C)「ロヴァンジュール文庫所蔵のバルザック『人間喜劇』生成資料の悉皆調査と目録の作成」(2015年~2017年度, 研究課題番号15K02377) 研究代表者.

渋谷豊

- ②「フランスにおける日本文学受容の一側面——火野葦平の場合」『信州大学人文科学論集』第4号, p.141-153 [単著]
- ⑦ 1) 東京都杉並区立宮前図書館主催「海外文学講座① 初めての世界文学」講師(於宮前図書館、11月3日) [単独] 2) 科学研究費基盤研究(C)「両大戦間期フランスにおけるジャポニザンの活動」(研究課題/領域番号16K02530) 研究代表者

伊藤盡

- ② 1) 'News from Eastern Lands on Northern Languages: Notes on a Japano-Anglo-Saxon Library'. *Poetica* 86: Special Issue, The Study of Old English in Nineteen-Century Europe (Maruzen-Yushodo) pp.139-54. [単著] 2) 'The Shaping of Middle-mouth: A Theory of the Representation of Consonantal Phonetic Features in the Feanorian Tengwar'. *Arda Philology* 6: Proceedings of the Sixth International Conference on J. R. R. Tolkien's Invented Languages Omentielva Enquea, Jenins, 2015 (August, 2017), pp.28-38. [単著] 3) 「生き埋めにされた伝説: ヒストリーとストーリーの狭間のイングランド黎明奇譚」『ユリイカ: 詩と批評』2017年12月号(特集 カズオ・イシグロの世界, 第49巻第21号) pp.203-213. [単著]
- ③ ジョン・ヘイウッド著、伊藤盡監訳、村田綾子訳『図説 ヴァイキング時代百科辞典』(柘風舎, 総447頁) [共著]
- ⑤ (書評)「J. R. R. トールキン著 ヴァーリン・フリーガー編 塩崎麻彩子訳『トールキンのクレルヴォ物語(注釈版)』4・15刊四六判272頁本体2300円 原書房」『図書新聞』3316号(2017-8-19), p.5. [単著]
- ⑥ (学会発表) 1) 「Handsome Handling of Handseax in Hobbit Films: 古英語的ファンタジーの武器の扱い」シンポジウム『映像化される中世: 語り継がれる史実とフィクション』西洋中世学会第9回大会, 2017年6月4日, 首都大学東京. [単独] 2) 'Demodernised Modern-Myth of the Battle of Maldon: Why Beorhtnōþ Bears Not Boldness'. Premodern Literature and Postmodernity: An International Conference. 2017年10月27日, Seoul National University. [単独]
- ⑦ 1) 講演「ABC 赤ちゃんからはじめる?」松本市梓川図書館(2017年3月9日) 2) 講演「Let's Enjoy! (レッツ エンジョイ) 英語でおはなし会」(2017年3月25日) 安曇野市中央図書館 みらい多目的ホール(10:30~11:30); 堀金公民館スタジオ2(14:00~15:00) 3) 日本中世英語英文学会評議員 4) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金: 挑戦的研究(萌芽)、平成29年度~平成30年度)による研究課題「日本のマンガにおける北欧神話受容史の萌芽研究」(課題ID 17K18482)を研究代表者として実施 5) 信州大学人文学部主催「信州大学人文学部オックスフォード研修」引率 6) 『教育研究』(国際基督教大学、教育研究所)査読委員

杉野健太郎

- ⑤ 1) 学会プロシーディングス「F・スコット・フィッツジェラルドと宗教」、『中部アメリカ文学』、第20号、日本アメリカ文学会中部支部、2017年3月、pp26-27。 2) 学術記事 Sugino, Kentaro. "F. Scott Fitzgerald in Japan." The F. Scott Fitzgerald Society Newsletter. Vol.25

(2016-17), The F. Scott Fitzgerald Society, April 2017, pp. 18-21. (単著、国際) 3) 学術記事「読者の声 文学研究は死なず」、『マーク・トウェイン 研究と批評』第16号(特集トウェインと女たち)、日本マーク・トウェイン協会編集、松柏社刊行、2017年4月、pp.121-22。(単著、国内) 4) 書評「大久保清朗／堀潤之編『アンドレ・バザン研究』第1号」、『日本映画学会会報』、第52号、2017年11月、pp.9-14。(単著、国内)

⑦1) 学会口頭発表司会・座長：4件(日本F.スコット・フィッツジェラルド協会合評会司会[3月4日、関西学院大学]、日本F.スコット・フィッツジェラルド協会ワークインプログレス司会[文京学院大学、6月10日]、日本F.スコット・フィッツジェラルド協会合評会司会[8月5日、東北学院大学]、日本映像学会座長[2発表、2017年6月4日、神戸大学])。2) 学会大会委員 日本英文学会第89回大会(2017年5月20・21日、静岡大学)支部委員。3) 学会役員：日本映画学会副会長・事務局長／日本英文学会中部支部理事・大会準備委員会委員長／日本スコット・フィッツジェラルド協会評議員／日本アメリカ文学会中部支部幹事。

沖 裕子

①『跨文化交際与日語教育研究(異文化交流と日本語教育研究)』2016年11月、陳百海・趙華敏主編、黒龍江人民出版社、ハルビン、328pp。(「基調講演 異文化交流と日本語教育：中日依頼談話の違い」pp.3-20、沖裕子[単著])

②「談話論からみた松本方言の判断終助詞と通知終助詞」日本方言研究会編『方言の研究』3、pp.217-238[単著]

⑥ 招待講演「韓日対照談話論のこれから」(韓国日本語学会第36回国際学術発表大会、2017年9月23日、於白石芸術大学：ソウル[単独])

⑦1) 日本語教育学会 審査・運営協力員 2) 韓国日本語学会 一般理事(2014年1月～2019年9月) 3) 社会言語科学会 発表賞選考委員会 委員(2015年4月～2017年3月) 4) 長野・言語文化研究会 代表(2015年4月～) 5) 国立国語研究所 外部評価委員会 委員(2016年10月1日～) 6) 八十二文化財団 理事(2015年～) 7) 日本語教育学会 2016年度学会活動貢献賞 受賞(2017年4月20日早稲田大学日本語教育学会春季大会にて) 8) 日本学術振興会科学研究費基盤研究C「対照談話論による日本語談話の発想と表現の研究」研究代表者

山田健三

①『和名類聚抄 高山寺本』(新・天理図書館善本叢書7、八木書店)[単著]

②「和名抄にみる古点以前の万葉集」(芳賀紀雄監修、鉄野昌弘／奥村和美編『萬葉集研究・第三十七集』塙書房、所収)[単著]

⑦1) 長野県松本深志高等学校評議員 2) 講義「人文学の地平：言語学の視点から」(松本秀峰中等教育学校生徒対象、2017年11月8日実施)

渡邊匡一

②1) 「ベトナム社会科学院所蔵・旧フランス極東学院日本語資料調査の経過報告－和装本

資料群の特徴について」(『リテラシー史研究』10, pp.19-25, 1月20日) [単著] 2) 「寺院資料調査と文学研究」(『仏教文学』42, pp.4-8, 4月30日) [単著] 3) 「圓通寺蔵『血脈鈔』紹介と翻刻」(『資料学の現在』, pp.161-199, 笠間書院, 11月10日) [単著]

③ 1) 善光寺(諏訪市)蔵『当寺記録帳』紹介と翻刻」(『信州大学附属図書館研究』6, pp.1-15, 1月31日) [共著] ④ 1) 松高生の青春日記(4)展(3月7日～5月7日, 旧制高校記念館) [監修] ⑦ 1) 仏教文学会委員(平成22年4月～28年3月) 2) 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)「真言宗寺院における中・近世期の学問展開に関する基礎的研究(課題領域番号:17K02412) 研究代表者

白井純

② 1) [単著]「落葉集本篇の掲載語彙について—古本節用集との比較をとおして—」『訓点語と訓点資料』第139輯、訓点語学会、pp.L95-111 2) [単著]「古活字本「脩華嚴奥旨妄盡還源觀」の版式について(付、影印)—活字コマの回転襲用を中心として—」『平成二十八年度 高山寺典籍文書総合調査団 研究報告論集』、高山寺典籍文書総合調査団、pp.44-63

⑥ 1) [単独]「「落葉集」本篇の掲出語彙について—「易林本節用集」との比較をとおして—、訓点語学会第116回研究発表会(京都大学)、平成27年5月21日 2) [単独]「印刷面からみたHAB本コンテムツスムンヂの調査報告—ライデン大学図書館のキリシタン版との比較—」、第7回キリシタン語学研究会(南山大学)、平成27年9月8日

⑦ 1) 「いざ、木曾路へ—中山道の歴史と道中記—」特別展開催、信州大学中央図書館 2) 日本学術振興会科学研究費基盤研究B「原典資料に基づく、キリシタン語学の根源的再編成」研究分担者 3) 訓点語学会委員(2016年11月～現在に至る)

速水香織

① 『仮名草子集成』第58巻 [共著](柳沢昌紀, 入口敦志, 富田成美, 速水香織, 松村美奈編, 2017年11月24日, 東京堂出版)

② 論文「中山道関連書籍の出版に見る三都本屋仲間の相克」[単著](『國語國文』86-1号, pp.18-34)

④ 「特別展 いざ、木曾路へ—中山道の歴史と「道中記」の世界—」企画・展示 [協同](2017年7月7-21日, 於信州大学中央図書館, 信州大学人文学部部局重点事業)

⑦ 1) くわな市民大学文化科講座「『十六夜日記』を読むⅡ」(桑名市中央公民館, 全7回, 2017年5-9月) 2) 皇學館大學人文學會学外委員(2013年10月～現在に至る) 3) 日本文学協会委員(2016年12月～現在に至る) 4) 日本学術振興会科学研究費基盤研究C・課題番号17K02447「信仰とメディアとの接点—近世前期における奉納文芸並びに神異譚の生成と変容との研究」研究代表者 5) ギャラリー・トーク「いざ、木曾路へ—中山道の歴史と「道中記」の世界」(2017年7月20日, 於信州大学中央図書館) 6) 項目執筆『江戸時代の社会・風俗がわかる 浮世草子大事典』(長谷川強監修, II人名編「西鶴本・八文字屋・吉文字屋以外の書肆」pp.57-8, III作品編『阿漕浦三巴』・『西行諸国断』・『風流庭訓往来』, p.98・408・719)